



第 51 号

2023 年 10 月

発行者：NPO 法人 介護の家コスモス男山  
〒614-8372 八幡市男山笹谷 4-2 D19-106  
TEL：075-983-2737 FAX：075-983-2746  
e-mail：kosumosuot@gol.com  
ホームページ検索用語 ⇒「コスモス男山」  
<https://kosumosuot.sakura.ne.jp/hp/>

## 大地変動の時代に

東日本大地震の発生から 12 年目になる。日本の地形、地質の特徴に加え、近年の気候変動は地震大国の原因の上に更にその原因を作っているものがあると確信できる。

戦後の復興過程を経て 70 年代の高度経済成長期は物質的な豊かさに私たちは翻弄され、それによって様々な弊害にさらされた。例えば一つの例であるが、日々使用している日用品にプラスチック(原料が安価で、成型が容易)が用いられ、それが川から海に流され、海流の力によって粉碎されたマイクロプラスチックを魚が餌と勘違いして食べ、更にその魚を我々が食べる。極北に棲むイヌイット族の人たちは海獣を丸ごと食べる習慣をもっているし、我々も魚を丸ごと食することがある。この食物連鎖の弊害は今のところ表には出ていないが近い将来公害問題として顕在化してくるのは時間の問題だと思う。

又先日、ラジオから流れてきた「培養肉」について私たちはどの様に捉えたらいいのだろうか。肉(牛、豚、魚、鶏)の細胞を培養して肉を作る、いわば人口食物の事だが、大地で飼料、水を与え自然に生育したものを食べてきた私たちは多少の違和感を持ってしまう。国際的な食糧不足、特にアフリカの飢餓状況はマスコミによって喧伝され私達も胸を痛めている。この世界的な食糧不足を解消するのともう一つは動物の飼育による環境負荷を軽減するのがその狙いだと考えられる。広大な土地、飼料、人力、ゲップによる二酸化炭素の排出



等々が減少するという。更に言うと培養技術を利用して人の臓器を作り出すのも大きな目標となっている。

「培養技術」を巡る企業による競争合戦が今後も続くだろうが、アフリカの飢餓脱出の糸口になればと思っている。

理事 井上一枝

# コスモス アラカルト

## 利用者さんたちの家族の声

母はコスモスさんが大好きです。一番のお気に入りには百人一首。読み手をしながら取り札を探すという欲張りスタイル。「みんなもう一回しようっていうのよ」と、ちよっとリーダー気取りです。いろいろなゲームや歌、季節の工作も大好き。近頃はその内容までは覚えていないようですが、いつも「あゝ楽しかった」といって帰ってきます。「家まで迎えに来てくれるし『そこ』でご飯作ってくれてはるからいい匂いがしてくるし、楽しいこといっぱいやし、本当にいいところに行けてよかったわ。」と、生き生きと話す母です。忘れること、できなくなることが増え、落ち込む姿も見られますが、コスモスさんで大切にしていたとき、力を発揮させていたことで自信を取り戻し、前向きに暮らせていけているのだと思っています。

ステキなスタッフの皆さんや利用者の方々に感謝!!です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



小林千津子の娘 川原え子

## 感謝状をいただきました

6月12日、八幡支援学校の校長先生と進路指導担当の先生がコスモス男山にいらっしゃいました。

コスモス男山が、長年生徒さんの実習を受け入れてきたということで、京都府教育委員会からの感謝状を持って来てくださったのです。

実習では、生徒さんは利用者さんたちと会話したりレクリエーションをしたりと、積極的に取り組まれている姿がみられました。これからも、次世代の育ちを支えていきたいと思えます。(副所長 武元美由紀)



西村所長 武元副所長 校長先生 進路指導担当の先生

## 七夕飾りは、こうしてできました



折り紙を大中小と切り抜き、2〜3通りの貼り方を見ていただき、それぞれ自由に貼り付けてもらえるよう、工夫しました。

♥ 短冊に書いたお願いごとは？

Iさんは自分の思いを短冊いっぱい書き、Kさんは「家族と一緒に住みたい」、Sさんは「健康に過ごせますように」等々、思い思いの短冊を笹につけてみんなで七夕の歌を大合唱。「コスモスに来るのが一番楽しい！」と思わず職員の方がほころぶ一言を書いて下さったKさん、何より嬉しい言葉でした。

利用者さんに喜んで頂けるよう今後も取り組んで行きたいです。

(介護職員 汐池久子)

# コミュニティスペース「ひだまり」

ちょっと、数人で集まりたいけど、自宅だと気を使うし…。ご近所やサークルで集まれる場所があればなあ…。

ネットワーク作りには場所も必要ですよ。そんな時のためにコミュニティスペース「ひだまり」はあります。軽食喫茶「おいでやすコスモス103」の2階です。ぜひご利用ください。

**飲み物食べ物の持ち込みも自由です。**

<開室時間>

火曜日～金曜日(祝日を除く)

午前11時30分～午後3時

<利用料金>

1時間200円

冷房・暖房利用時は1時間250円

<申し込み>

事前予約が必要です。早めにご予約下さい。

コスモス男山 075(983)2737 <利用可能人数>10人前後



## 利用されているグループ紹介

毎月第二水曜日の午後、「ひだまり」で連句を楽しんでいます。

その名も「二水会」。俳句は、季語を五七五の十七音で詠む文芸ですが、連句は、五七五に続けて七七と詠み、さらに五七五と詠み継いでゆきます。四季の句の他、恋や旅の句、つぶやきなども詠まれます。即興で詠みますが、皆で意見を交わしながら創るので合作という面があります。二〇二二年三月に発足し、六作品が生まれました。見学もOK。

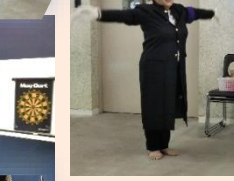
☎983・5278 土井三郎



## 健康寿命を延ばそう「きらっと☆シニア倶楽部」誕生して1年！



前半はしっかり体操。  
でも後半は？  
工夫を凝らしたゲームや  
イベントでわいわいわい！



勝負はあくまで真剣に！

地域の高齢者の方々の健康寿命を延ばしながら新たな出会いの場を作りたいという思いで始めた『きらっと☆シニア倶楽部』、早1年になりました。

参加者さんの「自分の身体に真剣に向き合って体操される姿」に、そして「ゲームやティータイムでのとびつきりの笑顔」に出会えたことが本当に嬉しいです。

ゲーム中の補助や片付けも率先して動いて下さり、みんなで作り上げているという実感があります。

これからも日常生活の中に『きらっと☆シニア倶楽部』が定着し、後期高齢者ではなく、『幸輝高齢者』になっていただける場所になりたいと思っています。

(きらっと担当 津野法子)

参加費100円(茶菓代) 時間13:30~15:30  
毎月第2, 4火曜日開催中 今からでも間に合います。

☎983-2737

にお申込み下さい。お待ちしております！

# 減災に向けて

# 「地震だ！」

# その時、何をする？



「この辺りも液状化の危険性？」真剣です！

特に断水時のトイレの使用については、実際にポータブルトイレを使用している説明が大変分かり易く参考になりました。トイレについては何がどのくらい必要なのか、今まで聞いたことが無かったので、早急に準備したいです。

(経理担当 田中瑞絵)

安全点検も大切！



「壁にしっかり固定されていますね。」



便座を上げた状態で溜まった水の上にポリ袋をかぶせます



便座を下して黒色ポリ袋をかぶせます



凝固剤で固めて、汚物をゴミに出す時は、必ず「し尿」と書いた紙を貼ります

## 「認知症ライフサポート研修」受講しました

八幡市内の各事業所から来られた様々な職種の方と、地域の民生委員さんが6人ずつのグループに分かれて、認知症ケアについて話し合いました。職種によって違う意見が出るのは当然ですが、その中で大切なのは、チームとしてその方に対して同じ目標を共有すること。その上でそれぞれ役割分担してチームケアをしていく。

認知症が進行してからの「手遅れ型支援」ではなく、早い段階から関わる「備え型支援」ができれば本人の思いが伝わりやすくそれに沿った支援がしていけるなど、多くの事を再認識できる研修でした。

(所長 西村直子)

6月23日 市役所の会議室で「認知症ライフサポート研修」が開催されました。共にコロナ禍に耐え、久しぶりの対面研修とあって、大盛況でした。




# コスモス文芸

俳句

はらからの 旅の終りや 大花野 おおはなの

語部かたりべの 腕うでのケロイド 桐一葉




みやこ

ぼこぼここと 群がりてぼこ 枇杷びわの花

故郷の 失くなりたる日 沙羅の花

だしぬけに 揚羽蝶あげはちようの 過りよこたり




志音

恋猫や 耳切り猫に 懸想けそうして

産道は すべて夕焼け 甘茶あまぢやぶつ仏

二位の尼の 化身におわす 水月くらげかな



信

活動日誌 6月～9月

11月	10月		9月	8月	7月									6月				
20日	1日	29日	25日	16日	15日	28日	23日	18日	24日	30日	23日	17日	13日	12日	4日	1日		
第4回 運営推進会議	コスモス日より第51号発行	今後の活動予定	処遇改善交付金前期支給	第3回 運営推進会議	サービス評価開始	多職種連携の会 2名	第3回 定例理事会	消防署立ち入り検査	職員研修 減災に向けて「地震だ!」その時何をする?	第1回BCP策定委員会 以降常勤会議時に開催	第2回 運営推進会議	夏季賞与支給	多職種交流 認知症ライフサポート研修 4名	「オレンジカフェ」以降毎月第3土曜日実施	「きらっと☆シニア倶楽部」以降毎月第2、4火曜日実施	京都府教育委員会より感謝状受理	第18回 定時総会	コスモス日より第50号発行

書名	著者	発行所
茜唄	今村翔吾	角川春樹事務所
忠臣蔵	黒鉄ヒロシ	幻冬舎
ほどよく忘れて生きていく	藤井英子	サンマーク出版
「介護保険は詐欺だ」と告発した公務員	日下部雅喜	日本機関紙出版センター
藤井聡太はどこまで強くなるか	谷川浩司	講談社
恋らむ鳥は	澤田瞳子	毎日新聞出版
朝鮮戦争と日本人－武蔵野と朝鮮人－	五郎丸聖子	クレイン
「私のはなし、部落のはなし」の話	満若勇咲	中央公論新社
しろがねの葉	千早茜	新潮社
死刑について	平野啓一郎	岩波書店
尚、赫赫たれ－立花宗茂残照－	羽鳥好之	早川書房
ウクライナ危機から問う日本と世界の平和	志葉玲	あけび書房
老いの玉手箱 ー痛快！心地よく生きるヒント100ー	樋口恵子	中央公論新社
日本短編漫画傑作集 全6巻	手塚治虫他	小学館
若者が変えるドイツの政治	木戸衛一	あけび書房

## ☆ 寄 贈 いた だ き ま し た

- ・ 指月在住の秦さんよりコロナ対応消毒剤を
- ・ ふきよせさんより捨て布を
- ・ 藤本さんより書籍を

ありがとう  
ございました。



47号から編集後記は編集委員5人が持ち回りで書いています。負担減のねらいが大きいのですが、委員一人ひとりの持ち味によって毎号切り口が違う後記も素敵だと思ったからです。

「NPO法人介護の家コスモス男山」の活動は多岐にわたっていますので、年間3回、1回6ページの冊子に、どこをどう切り取ってお伝えするか、迷うところです。

現在は、巻頭は理事の方々からのメッセージ。2ページは利用者さんの日常。3ページは介護事業以外のNPOの活動を紹介し、4ページは職員や地域の報告など。5ページは文芸と活動日誌。最終ページは、購入本の紹介と掲示板という風に一応の割り当てをしていますが、利用者さんの記事をもっと増やした方がいいのかなあと思っています。49号同様、今号も利用者のご家族が書いてくださいました。お陰で紙面に広がりとお行きが加わりました。本当にありがたいことです。

依頼に応じて寄稿してくださった皆さま！そしていつも、卓越したセンスで紙面を楽しく読みやすく構成してくださっている光成さん！  
深謝。51号完成です。

ふ〜、間に合った！（光）



（萬）